

外来化学療法室で治療を受けられる患者さん、

ご家族の皆様へ

1. はじめに

外来化学療法室とは、外来に通院しながら、安全に治療を受けることができる専用の部屋の事を言います。この外来化学療法室で治療を受けることによって、長期入院の必要性がなく入院費などの負担軽減や、日常生活を継続できるなどのメリットが考えられます。しかし、外来での治療では帰宅してから自宅での状態が医師や看護師では把握が難しい点もあるため、治療による副作用の発見や対処が入院治療に比べ遅れる可能性があります。このため患者さんご自身の自己管理及びご家族の協力も重要となります。もちろん副作用の発見および対処法が迅速にできるようにスタッフ一同細心の注意を払い、観察及び診療にあたっていきます。また治療に関し、不安や疑問がある場合は遠慮せずいつでも尋ねてください。

2. 外来化学療法室の特徴

- * 化学療法室は腫瘍・緩和ケアセンターの奥にあります
- * 外来化学療法室は、各診療科から依頼された患者さんの化学療法を専門に行う部屋で主治医・看護師（1～2名）・薬剤師（1名）で構成されています。
- * 付添いの方も付き添うことができます。
- * 本や雑誌、音楽を聴く物・ipot/ipatなどの持ち込みも可能です
- * 飲み物やお弁当などを持参してもかまいません。（治療しながら食事もできます）



患者サロン



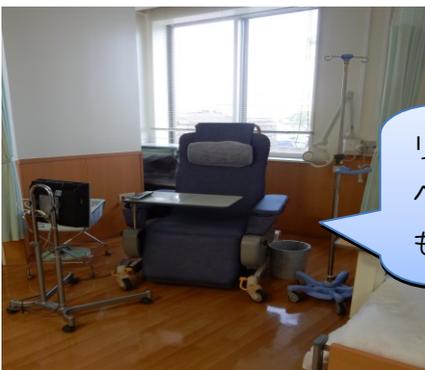
腫瘍・緩和ケアセンター内
患者さまが自由に利用できるサロンです
病気についてのパンフレットや雑誌が
おいています。また、ウィックや帽子な
どのパンフレットも置いています。
何かあればいつでも化学療法室の看護師
に声をかけてください

化学療法室

Chemotherapy Room



- *ベット 5台
- *リクライニングシートが5台 あります
- *それぞれテレビがついています
(カードはいりません)
- *貸し出しのイヤフォンはいくつかありますが、
持参していただければ、名前を書いて本人専用
として保管しておきます。



リクライニングシート
ベットの様に寝ること
もできます



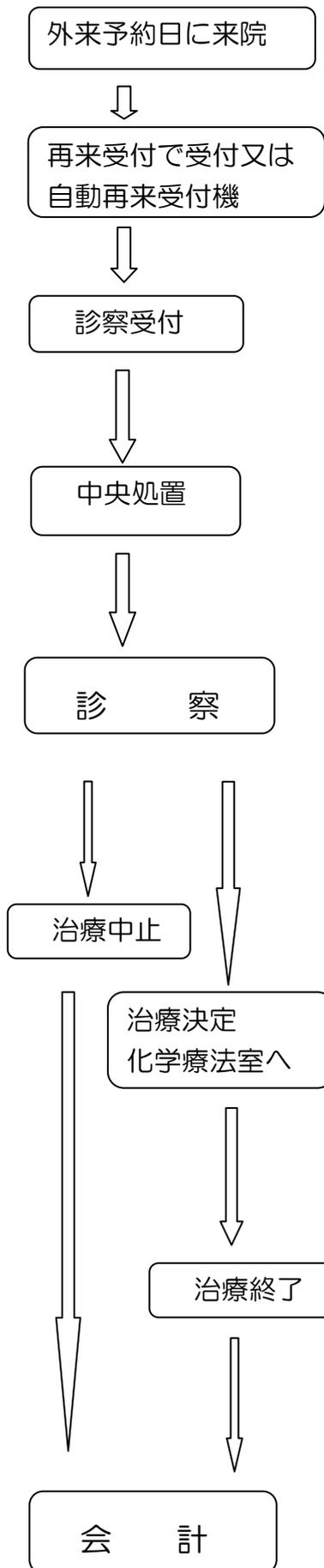
電動ベットです

3. 外来化学療法室ご利用に当たっての費用

当院の外来化学療法室は、厚生労働省の定める施設基準を満たしています。安全な治療の提供を目的として、外来化学療法室で治療を受けていただく為、患者さんの医療費自己負担が一部多くなる場合があります。あくまでも安全かつ専門的により良い環境で治療を受けていただくための負担で、保険が適用されます。ご理解いただきますようお願いします。

アルメイダ病院 外来化学療法室

4. 外来受診から治療までの流れ



患者票（A4）のファイルを受け取ります。
（透明のファイル）



ファイルを **診察受付** に出します。
化学療法の予定のある患者さんは
専用の色つきファイルに変わります。



自宅での様子・副作用などを尋ね、血圧・体温・体重測定・採血を行います。レントゲン・CTなどの検査を行う場合もあります。検査結果がすべて揃うまで外来ロビーで待っていただきます。

体調の悪い方はスタッフに声をかけてください。

検査結果が揃ったら診察ができます。受付番号が正面のテレビ画面に出ます呼び出し中の診察室前の中待合室にお越しください。**診察室より名前を呼ばれたら、中に入ってください。**診察室では医師が体調を聞いたり、検査結果を見て総合的に判断し治療を行うか決定します。治療を行う場合は、腫瘍センターのサロンへお越しください。また治療が中止になった場合は、次回の予約票をもらって会計へ行きます

化学療法室の看護師がサロンへ伺います。治療の準備をします。化学療法室には薬剤師がいます、薬について聞きたいことがあれば、いつでも聞いてください。治療中は、化学療法室担当の看護師が観察を行います。



治療が終了したら血圧・体温を測ります。状態の変化がなければそのまま帰宅となります。また帰宅後は休息と栄養を取り、次回の治療まで体調を整えましょう。次回の診察日は、予約票を渡しますので忘れずに持って帰りましょう。

5. 化学療法を受けるにあたっての注意点

運 転

*薬剤の種類により、アルコール成分を含んだ薬や眠くなる作用がある薬を使用する場合は、治療後の運転はしないでください。

事前に医師・薬剤師・看護師へ確認してください。

*治療後当日は個人差もありますが、ふらつき・体のだるさ等の副作用が考えられます。

転倒・事故等が生じる危険性もありますので、車の運転はできるだけ避け、家族の協力もしくは公共機関での通院を、お願いします。

サプリメントや他のお薬との関係

*お薬やサプリメント、健康食品には化学療法の効果を強めたり、弱めたりしてしまうものもあります。主治医に伝えておきましょう。

*他の科や病院で処方された薬、市販薬を飲んでいる場合はお知らせください。

治療時の注意

*治療が決定したら治療前にトイレを済ませておいてください。

*点滴をしている方の手は激しく動かしたり・点滴の管を引っ掛けたりしないように注意しましょう。お薬の中には、漏れると皮膚に障害が起こるものあり早急な処置が必要になるものもあります。点滴中に違和感や痛みがあるときは看護師にお知らせください。

《点滴中、気になる事や以下の事があれば担当看護師に知らせてください》

- ① 点滴が落ちない時や落ちが悪い場合、または針の周りの違和感・痛み・発赤（赤み）・腫れがある
- ② テープで固定しているところから漏れている
- ③ 針を刺しているところが痛い（ひりひり・ピリピリ）
- ④ 気分が悪い（ドキドキする・汗が流れる・体がかゆい・息苦しい）
喉の違和感・イガイガ感・鼻閉感・鼻水・かゆみ・発疹・涙が出る
咳・吐き気・ほてり・悪寒・熱感・むくみ・体のだらしさ

*点滴が終了し、針を抜いた後は3～5分間注射部位を圧迫してください。

止血が十分でないと後から出血する場合があります。

*帰宅後や、数日後でも注射部位の腫れや痛みがある場合には病院に連絡してください。

放置すると症状を悪化させることもありますので我慢せずに連絡を入れてください。

6. 副作用について

化学療法では何らかの副作用が現れます。副作用は、患者さんの病状等により、程度と発生時期が異なりますが、多くの副作用は治療終了後に回復することが多いです。主な副作用は吐き気・口内炎・便秘・下痢・脱毛・手足先のしびれ等があります。人によってはほとんど症状が出ないこともあります。患者さんが副作用で辛い思いをしないように私たちスタッフは、細心の注意を払い早期に最善の対応ができるように努めますので、どんな些細な事でも我慢せずに医療スタッフに相談してください。

7. 帰宅後の注意事項について

アレルギーについて

アレルギーは最初の15分、30分以内に出やすいと言われています。帰宅後に蕁麻疹が出る、息苦しい、顔が腫れるといった症状がある時は、病院へ連絡してください。また、その他気になることがある時は病院へ連絡してください。

感染予防について

化学療法後は、副作用により骨髄が障害されると白血球や好中球が作られなくなり、細菌から体を守る機能が低下して、風邪を引きやすい状態になります。白血球が下がる時期はお薬の種類によって異なり個人差もありますので、普段から手洗い・うがい（水で良い）の習慣を身につけましょう。

化学療法後、7～14日間程度は人ごみに行くときは、マスクの着用をおすすめします。

排泄について

化学療法のお薬は肝臓や腎臓で代謝され、便や尿から排出されます。他の人には有害となる場合もありますので、治療後～3日目まではトイレ使用后、便器のふたを閉め2回流すようにしましょう。吐くことがあった場合も同じです。

*男性の方は排尿時、便座に座ってください。

★次のような症状がある時は、診察予定日以外でも病院に連絡してください。

- *発熱時(38度以上の熱が続く時)
- *下痢がひどい時(水様便が1日に5回以上ある・夜中に下痢が続く時)
- *食事や水分をほとんど取れない時が1日以上続く時
(口内炎がひどく、飲食できない時・吐き気・嘔吐が続く時)
- *体がだるく動く気にもなれない日が続く時
(会話ができない・身の周りが自分でできないほどつらい等)
- *呼吸困難感・動悸・胸内苦悶・圧迫感がある時
- *発疹が出現した時
- *自宅に帰り点滴した所が血管に沿って赤くなったり水膨れが出来たり、腫れたり、痛みがある時

8. 病院への連絡方法

・平日(8:30~17:00)

病院代表に TEL をしてください。電話交換が対応します。主治医・外来診察受付・化学療法室に電話をつないでもらってください。

「お名前と化学療法を受けていることや症状」などお伝えください。

*主治医・外来看護師・化学療法室担当看護師が対応します。



・夜間(17:00~8:30)・土曜日・日曜・祝日

病院代表に TEL をしてください。時間外受付が対応します。

「お名前と化学療法を受けていることや症状」などお伝えください

*当直医・当直看護師が対応します。必要に応じて主治医と連絡を取り合い対応します。

アルメイダ病院代表 TEL 097-569-3121



アルメイダ病院 外来化学療法室